令和7年度 土木学会認定

九州の選奨土木遺産

鹿狩戸橋（かがりどばし）

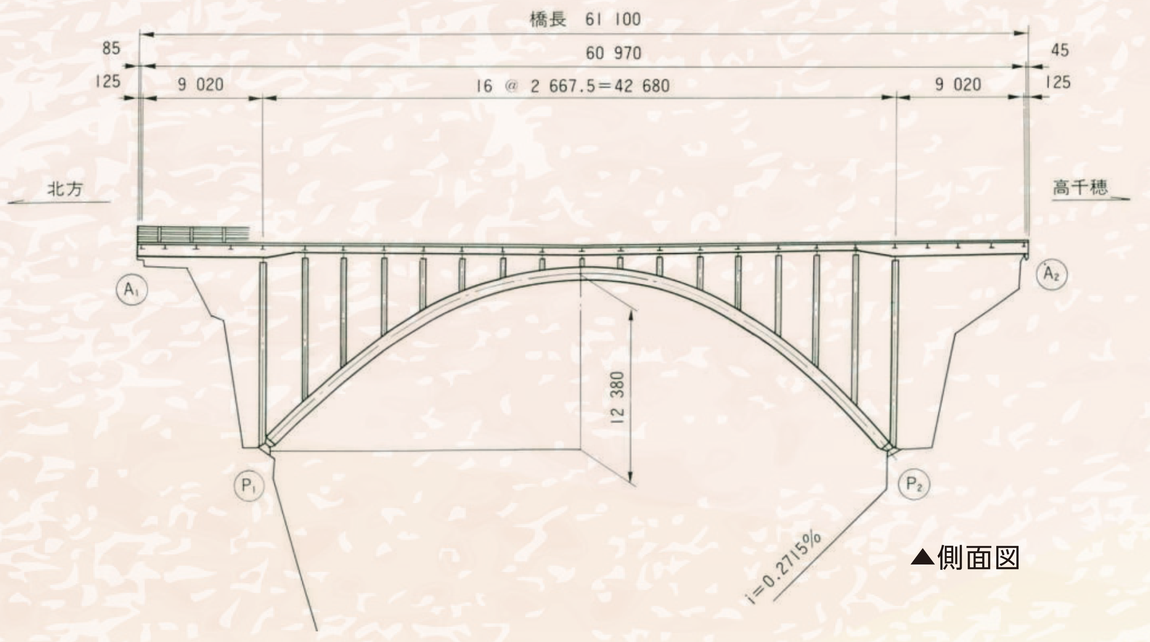
宮崎県西臼杵郡高千穂町

鹿狩戸橋は1931（昭和6）年に宮崎県西臼杵郡高千穂町に架けられた上路式ソリッドリブアーチ橋。設計者は増田淳で、戦前の九州に架けられた唯一のソリッドリブアーチ橋である。加賀によると、「それまで外国人任せであった橋梁設計において日本人技術者が登場する大正末期のころ、日本は関東大震災の被害を受け、国を挙げて復興に取り組んでいた。そのような中にあって、各県の嘱託技師として数々の橋梁設計に携わり、目覚ましい活躍をしたのが増田である」とされ、宮崎県には鹿狩戸橋の他に1934（昭和9）年に完成した美々津橋も手がけている。

鹿狩戸橋は完成当時RC床版であったが、1991（平成3）年に鋼床版へと変更された。この変更の際、垂直材同士を連結する縦桁も撤去された。

▲鹿狩戸橋全景

▲1934（昭和9）年に完成した美々津橋



▲側面図

【参考文献】
・日本の土木遺産（改訂版）現存する重要な土木構造物2800選ウェブサイト
・歴史的鋼橋検索ウェブサイト
・宮沢：「鉄筋コンクリート床版から鋼床版への架け替え工事（奥多摩橋、鹿狩戸橋、松丘橋の工事報告）」、宮地技報No.9、p.87、1993.5
・加賀ほか：増田淳の橋梁設計手法と設計思想に関する研究、土木史研究講演集Vol.28, pp177-185, 2008

形　式	：	上路式ソリッドリブアーチ	完成年	：	1931（昭和6）年
諸　元	：	橋 長：60.3m、最大支間：42.7m			

土木学会選奨土木遺産認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設されました。
「選奨土木遺産」とは、全国に多数ある歴史的土木構造物の中から選出された貴重な先人達の遺産であり、今後とも良好な保存状態を維持すれば年を重ねる度にその価値を増し、将来、国の重要文化財として指定される可能性のある、かけがえのない国家的財産なのです。

土木学会選奨土木遺産はホームページをご覧ください。　http://www.jsce.or.jp/contents/isan/index.html　土木学会選奨土木遺産　検索